

第1回 宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成30年3月29日(木)13時00分～14時30分
2. 開催場所 下野新聞NEWS CAFE 2階
3. 出席者 審議会委員総数:7名 うち出席委員数:4名
 - (1) 出席委員 阿部 訓久、大木 雄一郎、長島 俊夫、岩井 俊宗
 - (2) 放送事業者側 稲葉 克明、中村 長司
4. 議事
 - (1) 放送番組の編集の基準について
 - (2) 番組の説明・試聴、意見交換
 - (3) その他
 - (4) 次回の開催日程
5. 議事内容
 - (1) 放送番組の編集の基準について

「放送番組の編集の基準」を配布し、番組編集の基本方針、ならびに編集の基準について、事業者側より説明を行った。

(審議員) 番組編集基準にある6種の番組(情報、報道、教養、教育、児童、娯楽)の、それぞれの割合はどのくらいか。

(事業者) 教養、教育に分類される番組も一部にあるかもしれないが、基本的には全て「情報番組」としている。

(審議員) 番組の企画が持ち込まれた場合、やるかやらないかの判断基準はなにか。また、1クールが基本とあるが、途中で打ち切った番組はあるか。

(事業者) 「リスナーに有意義な情報が提供できるか」が第一の判断基準。番組企画者(スポンサー)の自己満足になることは避けたい。持込みの番組企画で、魅力的な情報発信ができず、クール途中で終了となった番組もある。

(審議員) 不適切な内容と思われる番組があった場合、審議会で審議したほうがよい。審議会で審議することが牽制にもつながる。

(事業者) 今後そのようにする。

(審議員) 宇都宮の「周辺エリア」とあるが定義はあるか。文章では違和感がある。

(事業者) 定義はないが、宇都宮市内に限定するのではなく、市民の生活圈や観光・遊覧先として、市外の施設やイベントについても紹介している。

(審議員) 個人では番組を持つことはできないのか。

(事業者) 個人でも可能。ただし、自己満足とならないよう原則として、企画書の提出や、面談の過程で精査し決定している。

(2) 番組の説明・試聴、意見交換

①審議番組「行列のできる!! 街かど相談室」(出演：宇都宮市医師会、他)

提 供 宇都宮市

放送日 毎週木曜日 13:00～13:30

番組内容 主に医療や介護、福祉、生活支援等をテーマに、「聞いたことはあるけど、よく知らない」「興味はあるけど、どうしたら良いか分からない」といった素朴な疑問に専門家の方に分かりやすく解説していただく番組。今月のテーマは「介護」について。

審議対象回 平成30年3月1日(木)放送分

(審議員) 介護については、ターゲットが難しいのではないかと。アプローチの方法もいろいろある。内容によっては「近くの民生員に相談してください」としてもよい。

(事業者) この番組は、月替わりでテーマを替えている。内容により対応窓口をきちんとお伝えすることは必要。

(審議員) パーソナリティが持っている情報や勉強だけでは、専門的な分野の話を進めるのは難しい。事前準備が必要な場合もあるのでは。

(事業者) すべてにおいて入念な準備をするのは難しいので、リスナーの視点に立って、わかりやすく話を聞き出すようにしたい。

(審議員) パーソナリティには、話を整理して、もう一度伝える、というスキルが必要。この番組のというわけではないが、パーソナリティは「分かったふり」をしてはいけない。場合によって翌週にフォローすることも必要ではないか。

(事業者) ご意見の通り。そのようにしたい。

(3) その他

なし

(4) 次回の開催日程

次回の開催は、平成30年5月10日(木)13時とする。会場は追って通知する。

6. 審議会の公表方法

- ・放送で公表する
- ・書面を当社事務所に備える
- ・ホームページに掲載する

以 上